

地域協働授業成果発表会



1. 開会 司会進行役：COCOS 知能デザイン学科 3年 河村 智侑
" 生物工学科 1年 野田 滯夏
2. COC推進本部長あいさつ 代理 松本副本部長
3. 発表・質疑応答



井戸 トピックゼミ「『ファミリーパークの魅力向上』に向けて、学生からの提案」

濱 トピックゼミ「地域企業経営者から科学技術と社会、技術者としてのキャリア形成について学ぶ」

森 トピックゼミ「地域企業における製品開発」

竹井 トピックゼミ「プラスチック材料の製造の課題と対策」

中田 トピックゼミ「呉羽丘陵での小学生向け里山教育支援タブレットアプリ開発」

岩本 トピックゼミ「南砺市におけるオープンデータの利活用に関する市長への提言」

浅野 トピックゼミ「生物の発光現象の研究と実用化」

4. 全体質疑応答
5. 講評 COC推進本部 中島副本部長
6. 閉会



7月18日(金)本学大講義室にて、学生団体COCOSの2名が司会進行を務め、「前期COCトピックゼミ・地域協働授業成果発表会」が開かれ、学生が地域の課題についての解決策などを提言しました。

4月から全学の6割以上のトピックゼミで、地域関係者との対話を通じた授業に取り組んできました。その成果を7つのゼミが発表しました。

発表した学生も含め、発表会に参加した学生は約100名、その他地域関係者も参加してくださいました。

発表では、

「オープンデータを活用して南砺市の観光を活性化するべく、ジビエやそばを扱う店舗データの集約を提案するもの」、

「生物の発光現象を富山県の観光資源として活用するといったアイデアをだすもの」、

「植物同定のためのタブレットアプリを企画、開発したものを実際に動かして見せるもの」など学生たち独自の発想が見られました。

参加した地域関係者の方々からも質問が挙がり、大変活気のある場となりました。

なお、後期はトピックゼミを含め、全ての地域協働授業を受講した学生の成果発表会を

1月29日(木)専門ゼミ、プレゼン演習、教養ゼミ)及び1月30日(金)(トピックゼミ)に開催する予定です。

学生インタビュー

発表会で大活躍した

情報システム工学科2年生 水内 智也さん



トピックゼミでの取組について教えて下さい。

小学生の子どもたちが植物に興味を持つよう、植物を見分けるためのアプリケーションを作成しました。

発表の仕方の参考にした人はいますか？

去年の12月、情報システム工学科の中田先生にインターンとして学会に連れて行ってもらったことがあり、そこで見た先生や他の大学の4年生の方々の発表を参考にさせていただきました。

座学に比べて今回の授業はどう感じましたか？

楽しく取組めました。取組んだ結果として誰かの役に立つという経験が出来たのが一番よかったです。そういう経験が自分を高め、てくれるし、モチベーションの維持にも繋がると思います。

今後COC活動に関わりたいと思いますか？

興味があります。地域のために貢献できるとい魅力のある活動ですので、時間と都合が合えばぜひ参加したいです。

インタビュー... COCOS

環境工学科 4年生 道谷 健太郎
情報システム工学科 3年生 伊達 伸之輔